

徳島県支部総会

平成24年11月5日(日)徳島市(ホテル千秋館)において、平成24年度日本大学通信教育部徳島支部総会を開催いたしました。



平成25年第1回常任委員会 徳島支部長 山本 浩二氏(左から2番目)と職員ら。

お知らせ

平成25年第1回常任委員会 徳島支部長 山本 浩二氏(左から2番目)と職員ら。

東京都支部 サークル活動

参加のご案内 国際情報研究会 開催 校友会事務局会報 開催日 毎月第四土曜日

第82号の訂正

1面3段18、19行 「学習センター」開館

指針委員の減少

1面6段左より9行 「仮称」人間総合科学部

あんな話、こんな話

三重県支部 大形弘 県内ではめづらしく、私一人のようである。老人ホームで、



大形弘

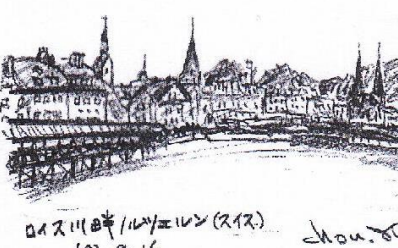
料理教室

壁谷公江(文筆) ある年の秋、私は某区の教育委員会が募集した料理教室へ通った。毎週金曜日が

年齢と読み方

師田製炭(法字) 年齢 異称 15歳「志士(しがく)」「学

- 1 15歳「志士(しがく)」「学問に志す」「学問に志す」(志士)
2 20歳「弱冠(じやくわん)」(弱冠)
3 30歳「而立(じりつ)」(而立)
4 40歳「不惑(ふわく)」(不惑)
5 50歳「知命(ちめい)」(知命)
6 60歳「耳順(じゆん)」(耳順)
7 70歳「古希(こき)」(古希)
8 70歳「古稀(こき)」(古稀)
9 77歳「古稀(こき)」(古稀)
10 80歳「耄耋(まうてん)」(耄耋)
11 88歳「米寿(まいじゆ)」(米寿)
12 90歳「老寿(らうじゆ)」(老寿)
13 99歳「白寿(はくじゆ)」(白寿)
14 108歳「茶寿(ちさじゆ)」(茶寿)
15 108歳「茶寿(ちさじゆ)」(茶寿)
16 110歳「百寿(ひやくじゆ)」(百寿)



04ス11(2)時/11/12/13(2) (22.9.16)

日本大学通信教育部職員

福田弥夫 事務局長 鈴木彰一 事務局長 松瀬隆幸 事務局長 佐藤和彦 事務局長 牧 顕 経理長

日本大学通信教育部校友会 名誉顧問

堀川正夫 千280 086 市原市山本五六二一九

日本大学通信教育部校友会 名誉顧問

猿渡光 千184 084 東京都目黒区高津七五七七

日本大学通信教育部校友会 副会長

白戸忠志 千183 086 府中市西原町一三九一八

日本大学通信教育部校友会 常任幹事

白戸忠志 千183 086 府中市西原町一三九一八

日本大学通信教育部職員

脇岡堅一 千344 084 埼玉県春日部市一四一六

よもやま話

薬剤師 品川美智子 薬は元来、体にとって異物な

今から三十数年、日本大学通信教育部にお世話になって、国文学を学ぶ前、製菓会社に勤めていた時である。空港から電話があり、お客様が二トログリセリン錠を持っていたが、燃発したんか?と

薬は元来、体にとって異物なので、必要なのは使ひ、必要でないものは使わないのが、良心的な医者と言えるが、患者の中には薬を沢山処方する医師を良い医師と勘違いしている人もいる。インターネットでも適切なような、心配なところである。人の口に入るものでは薬が、一番厳格な規制がある。薬は利便性も然るべきだが、安全性を第一に考えたいのは、薬は絶対必要を要するものだからである。

私は高校教員定年後15年になり、定年が4月4日になり、県のボランティア協会に入り、この15年間、ボランティアをして参りました。主な活動は、老人ホーム、幼稚園、川の流れのようにつづりまわす。ほんと、この人気がうれしく、このごきり音楽、大道芸、カラオケ、民謡、幅広くやってきました。

うれん車ゆめである。海苔等進め方などをつないだよい上巻も万に入った。みんなの目が巻く人の手許に注がれる。見事な太巻がずしが出来上がると、思わず拍手があちこちのテーブルからあちこち。待ち待った試食の時間!おすしを前にして思わずため息が出た。「おいしい」誰かが声をあげた。とても一度で食はきれない程の分量だった。私はほひと唇を巻いた。残りには持たずて食卓に食べよう。盛り付けを始めた。手揚げに入れると形が崩れそうなので手に持って運ぶことにした。教室には、3人しか残って居なかった。その時私には用を急いで手揚げとおすしをテーブルに置いたまま、戻って見たらあつたのは手揚げだけ。おすしの包みはどこを探しても見当たらない。